

## I. 平成30年度事業計画

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

本年度の活動については、引き続き、設立の趣旨である「幅広い視点からの知見にもとづく多角的な検討に基づいた取り組み」を行うことを基本とし、海洋産業界と鉱業界ならびに周辺業界との間の交流を一層深める。

昨年度は、海底熱水鉱床の揚鉱パイロット試験が成功する等、深海底鉱物資源の利活用の促進に向けての取り組みが着実に進んでいるところであるが、今年度は、第3期海洋基本計画が5月15日に閣議決定されたのに伴い、海洋エネルギー・資源開発計画の改定が想定されている。

そこで、当RTとしては、これらの国の動きについて会員の情報共有を図るとともに、全体会合や特別研究会、見学会等の活動を通じて、国外の技術動向に関する情報収集の強化等、一層の事業活動の充実を図り、技術開発の発展に資する有益な交流の場の提供に努める。また、今年度より人材育成の支援についても取り組む。

なお、翌年度は当ラウンドテーブル設立10周年を迎えることから、記念事業の準備にも着手する。

### 1. 会議の開催

平成30年度内に、総会を1回、理事会を1回以上、幹事会を必要に応じた回数、開催する。

### 2. 全体会合等の開催

平成30年度内に全体会合を複数回開催する。その他、適宜、特別講演会等を開催し、海底鉱物資源開発を牽引する国内外の団体等について学び、交流する機会を設ける。

○全体会合については、時宜を得たテーマ等を選定して実施する。

○特別研究会等

期初に予定しているものとしては、OCEANS/Technio-Ocean2018に合わせて次の行事を予定しているが、そのほか、年度内に適宜開催する。

「ノルウェー／日本 海洋資源開発技術に関する意見交換会」

- ・日時：平成30年5月28日(月)13時15分～16時45分
- ・場所：神戸コンベンションセンター 国際会議場 501号室
- ・参加者：ノルウェー：ノルウェー科学技術大学(NINU)、DNV、Statoil、Kongberg

同国大使館等から10名程度

日本：RT関係者を中心に15名程度 計25名程度

### 3. 人材育成・研修事業の実施

今年度は新たに、深海底鉱物資源の利活用促進に資する人材を育成することを目的に、一般財団法人国際資源開発研修センター(JMEC)との共催により、下記要領にて「海底鉱物資源開発基礎講座」を開催する。

- ・座学 平成30年6月7日(木)、8日(金)、11日(月)  
JMEC会議室(東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル4階)
- ・見学 6月12日(火) 東邦亜鉛(株)小名浜製錬所(福島県)  
6月13日(水) 海洋資源調査船白嶺(千葉県)

#### 4. 見学会等の実施

平成 30 年度に、海底鉱物資源の開発の参考になると考えられる、船舶、研究施設・設備、鉱山関係等を対象に、例年同様、数回の見学会を実施する。

#### 5. 情報受発信事業の実施

会員限定の情報・資料の提供・共有、さらに外部機関の関連情報の収集、および会員内外への情報発信等の充実・強化に取り組む。

- ・活動内容の記録や調査研究成果等の報告書、有用資料等の発行・配布
- ・会員保有技術の情報共有・提供
- ・ホームページ/会員専用ページの更新・充実
- ・「RT メールニュース」の配信（年度内 12 回程度）
- ・その他、関連する情報受発信活動

#### 6. 海洋資源の開発および関連産業の振興に関する調査・研究等の実施

多角的な立場・視点から情報及び意見交換、さらに必要な調査・研究活動を精力的に行い、一層の充実を図る。

- ・海外における海底鉱物資源開発に関連する法整備、各種技術動向、環境保全対策等の把握
- ・海外における海底鉱物資源関連の学会、国際会議等への調査団派遣、情報収集。下記の例のほか、適宜、調査員等の派遣による情報収集を行う。

例：UMC-2018 : 47th Underwater Mining Conference

(ノルウェー・ベルゲンにて 9 月 10～14日開催)

Asia-Pacific Deep Sea Mining Summit

(シンガポールにて 11月28～29日開催)

- ・国際機関等による有用資料やその他資料の翻訳・編集・出版・配布

例：ISA が現在策定している「深海底における鉱物資源の開発に関する規制の草案」

“Draft regulations on exploitation of mineral resources in the Area” の翻訳

- ・その他、会員の意向に基づく有用情報のとりまとめ

#### 7. 10 周年記念事業の着手

次年度に海洋資源・産業ラウンドテーブル設立 10 周年を迎えるにあたり、記念事業の準備に着手する。

(記念事業の例)

- ・10 周年記念式典の企画・準備（平成 31 年度 7 月の理事会・総会・全体会合後の懇親会を記念パーティとして開催など）
- ・「海洋資源・産業ラウンドテーブル 10 年史」の企画・編集（沿革、活動実績等々を収録して、会員内外に配布）

#### 8. その他、会の目的を達成するために必要な事業の実施

その他本会の趣旨に沿って、その他の事業活動に取り組む。

- ・事業活動に関する会員の意向調査（アンケート）の実施（10 周年記念事業、新規事業展開含む）
- ・事業活動の拡大に伴う調査研究委託事業等の拡大

以 上